

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

②同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい



2018年(平成30年) 11月号

No. 368

発行: 沖縄県中小企業家同友会 編集: 広報委員会

〒901-0152 沖縄県那覇市小樽1831番地1 沖縄産業支援センター603号 ☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208 http://www.okinawa.doyu.jp E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



喜瀬朝夫氏が経営する(有)朝日興業企画は、一九七二年、お父様がトラック一台から始めた鉄工所「朝日工業」が始まり、鉄骨建築・ステンレス工事などが主な事業でした。若い頃はプロのドラマーとして活躍していましたが、一九八一年頃に家業を継ぐため名護に戻られました。それから「PA(音響や照明)



妻と二人で「世界一周旅行」

(有)朝日興業企画 代表取締役 喜瀬朝夫氏

をやってくれないか」と頼まれる機会が増えていき、当時は専門の業者がほとんどなかったこともあり、「これは商売になる」と確信。建設業の傍ら、音響や照明機材の貸し出しなどを始められたそうです。その後、この分野の売上が徐々に伸び、二〇〇六年十二月に会社を法人化し、「有会社 朝日興業企画」と社名を改め、「建設事業部」に加え「イベント

事業部」も設立し、レコーディングスタジオを併設した新社屋も建設。本格的にイベントプロデュースに乗り出されました。「業績は右肩上がりです。安定しており、建築の方も受注が増加していて嬉しい限り」と話す喜瀬氏にインタビューさせてい

ただきました。現在、建設事業部では主に鉄骨建築、ステンレス工事などを中心に受注しています。イベント事業部では、各種イベントの舞台設営、音響、照明、機器販売・施工工事など、また、「万国津梁館」のホール管理も請け負っているため県外大手企業からのMICE事業の受注もあり、大規模なイベントも少しずつ増えています。県内では新たに大型MICE施設の建設も予定されていますが、これが実現できれば、沖縄は近い将来『国際リゾート都市』になると信じてい

ます。他には、貸しスタジオ、「ライブハウス」の運営もしています。イベントは北部だけではなく、南部からの依頼も多いですね。経営上大切にしていることは、自社の利益だけを追求するのではなく、お客様に対して思いやりを持って接し、相手の満足を考える「心の経営」を目指しています。また「社長が変われば社員が変わり、会社が変わる」を常に意識しています。気づきがあれば人は変われると考えており、社員と何でも話し合える風通しの良い雰囲気心がけています。今後の展望は明るいと思っていますが、多忙なので戦力となるスタッフの増員が急務ですね。会社の成長や発展のためには人材確保・育成は必須だと思っています。

相手の満足を考える 「心の経営」を目指して!

中部支部 30周年記念イベント

(延期イベントの日程ご案内)

とき 2019年1月13日(日) 14:00~16:30
ところ うるま市民芸術劇場 響ホール
内容 パネルディスカッション、肝高の阿麻利のダンス
※詳細については、決まり次第ご案内いたします。

2019年新春のつどいについて

とき 2019年1月24日(木) 17:00~20:30
ところ パシフィックホテル沖縄
講師 日産ディーゼル 元社長 仲村 厳氏
※詳細については、決まり次第ご案内いたします。

《会社概要》
(有)朝日興業企画
代表取締役 喜瀬朝夫氏 (北部支部)
所在地/名護市東江5-9-23
TEL/0980-52-1588
事業内容/鉄骨建築、イベント事業

茶論 今、米国の貿易戦争が、中国の影を長く伸ばしている。その影は、世界の政治、経済、文化、教育、医療、環境など、あらゆる分野に及んでいる。中国の影は、世界の政治、経済、文化、教育、医療、環境など、あらゆる分野に及んでいる。中国の影は、世界の政治、経済、文化、教育、医療、環境など、あらゆる分野に及んでいる。



坂本氏の話に熱心に聴く参加者

十月二十七日、与那原町観光交流施設において第十三回雇用・就労支援フォーラムが二二三名の参加で開催されました。基調講演は、「障がい者雇用で輝く幸せな職場のつくり方」をテーマに、



坂本光司氏

人を大切にする経営学会・会長の坂本光司氏に報告して頂きました。坂本氏の著書『日本でいちばん大切にしたい会社』は、六シリーズ発刊されています。

全国の中小企業を訪問した坂本氏から、障害者雇用で輝く幸せな職場の作り方として、障害のある社員からの手紙、三人の障害児と暮らす母からのメール、障害のある小学生の作文が紹介されました。また、日本で一番大切にしたい会社大賞を創

基調講演

みんなが幸せになる会社実現めざして

第13回雇用・就労支援フォーラム基調講演報告
障がいのある方の「夢」と「希望」を実現するために

設されましたが、その応募要件には、企業の規模に関わらず、障害者雇用2.2%の達成を義務付けています。直接雇用ができない場合には、間接雇用を義務付けている。企業としてできる事を探ること

の重要性を語られました。企業経営の目的・使命は、その企業に関わる全ての人の幸せの追求、実現であり、業績や勝ち負けは目的ではなく、企業を存続させるための手段であることを強調されました。

第1分科会

社員への厳しさは本当のやさしさ



座間味 勲氏

を行なっています。障がいが、あってもなくても仕事の出来る人遅い人は、いますが、仕事に区別はありません。

座間味会長は、これまでに施設外就労から現在の一般就労まで当たり前のように入社したい人がいれば雇用し、さらに当人が自立するときに困らないように、ときには厳しく家族にも社会性を育てることが重要であると伝えられました。

第一分科会は、「障がい者雇用は特別なことではない！」をテーマに、(株)さまみダンボール会長座間味勲氏に報告していただきました。現在九名の障がい者が働き、製造業の業種を生かし前身の会社から試行錯誤しながら働きやすい環境づくりを進め、障がいのあるなしにかかわらず採用された社員をきちんとなことか、大切に個人個人の能力が発揮できる仕事を見出すことや、社会でのコミュニケーション能力向上など、指導社員と連携しながら、社内での観察、情報共有

会社の一員として迎えた社員に対する厳しくはみえるけど、それが本当のやさしさなのではないでしょうか。まさに人を生かす経営の総合実践をおこない地域に無くてはならない企業といえます。(仲本和美)

第2分科会

在宅×ICT技術活用で「働くことは素敵」伝えたい!



プロジェクターで説明する第2分科会報告者

活用し、個々の強みを生かした職場づくりのための支援」をテーマに、(株)ケイオーパートナーズ富田治敏社長と朝比奈めぐみさんに報告をして頂きました。障がい者の中には、高いスキルを持つという方や働きたいという強い意志があっても様々な制約のため、「在宅で働く」が多々、「どこでもWork」ではITツールを活用し在宅での就労

を支援されています。在宅訓練は、テレビ電話やチャットを活用し、パソコンスキルなどの実務訓練、ビジネスマナーや面接等の就職スキルを身につけ、週に一度の訪問と月に一度の通所を行います。「在宅でのコミュニケーションは、顔を見ない分、伝える力が必要。」と富田社長。一人ひとりにあわせて段階を踏まえながら訓練を行い、訓練生の自立をサポートします。その後のグループ討論では、在宅就労の活用について活発な意見交換がなされました。(岩田進司)

実際の見学とその後の宮城光秀さんからの報告も受けて、障がい者の方を雇用した事で新たに得られる気づきや彼らがなくてはならない存在になつていく事など、意外なお話で目からウロコでした。特に障がい者ならではの素直さ勤勉さによって会社内に明るさや優しさなどといった非常にプラスとなる雰囲気が生まれていくの現実に参加者全員が感銘を受けてました。(株)母太樹・下野たえ子)

第3分科会

学生時代から仕事体験の場が必要!

第三分科会では、「すべての人の『働きたい』に応える雇用・就労を支える連携とは」のテーマでパネルディスカッションを行いました。パネリストに与那原町福祉課の岡剛氏、児童養護施設愛隣園の仲宗根岩雄氏、(株)近代美術の浜元陽子氏の三氏と、コーディネーターは社会福祉法人若竹福祉会の吉川嘉朝氏が進行。

岡氏からは、「行政として、就労に向けて各分野の専門家や事業所へコーディネートして行きたい。」といった意見がありました。仲宗根氏からは、「児童養護施設の児童は、就労と同時に住居を確保しないといけな

い。」と報告がありました。浜元氏からは、自社で働く聴覚障害の社員達と上手くコミュニケーションを取るために皆で取り組んできた体験報告

「彼らがなくてはならない存在に」

第4分科会

彼らがなくてはならない存在に

第四分科会は、雇用し

第五弾！「経営者川柳」の募集をおこないます。今回のお題は、「ダイエット」(締切/十一月末) 十二月号「ニライみらい」で発表します。ドシドシ応募ください。前回は引き続き、豪華景品をお渡しします!!



見学先で学ぶ参加者

「川柳」大募集! 第五弾! 「経営者川柳」の募集をおこないます。今回のお題は、「ダイエット」(締切/十一月末) 十二月号「ニライみらい」で発表します。ドシドシ応募ください。前回は引き続き、豪華景品をお渡しします!! 提出先: 沖縄県中小企業家同友会 FAX: 098-859-1208 メール: doyu@okinawadoyu.jp



第277回

(株)ベストコンサルタント
代表取締役 宜保 剛 氏



宜保 剛 氏

創業して一年半を迎えたという(株)ベストコンサルタントの宜保剛社長。事業内容は、公共事業(建設工事)に伴う測量、土質調査及び土木設計に加

え民間開発申請にかかる図面作成などですが、インタビュアーしているところの内容が多岐に渡っていることを実感します。公共工事の場合は、エリア

将来、総合建設コンサルタント会社をめざす



集合写真、ハイチーズ

また照屋守道、西平守利、松堂修、石村弘之、太田一(敬称略)などの歴代の支部長・幹事長への表彰に続き、小渡玢

十月三日、ラゲナガーデンホテルにおいて、中部支部三十周年記念式典が、沖縄公庫中部支店長、宜野湾商工会、中城商工

会をはじめ中部地区商工会頭、金融機関などの来賓のご列席のもと八十五名の参加で盛大に開催されました。

支部会員で創りあげた感動的な記念式典

中部支部設立三十周年記念式典

冒頭、與崎文美中部支部長の堂々とした挨拶に始まり、会食をしながらの懐かしのスライドショー、古謝翔龍太鼓の壮大な演武に続き、三十周年記念の四つのプロジェクトの報告が行われました。

表彰が行われました。直後、一瞬の暗闇とともに「あしたがあるさ」の替え歌パフォーマンスが行われ、会場を感動の輪に包み込みました。

最後に、これまでお世話になった同友会事務局への感謝の寄せ書きを贈呈し、余韻のままに閉会となりました。(報告・中部支部・新井)

経営戦略を変える重要性



八城正明 氏

十月十五日、八汐荘屋良ホールにて、(株)琉球メ

モリアルパークの八城正明社長に「人口減少社会と『終活』ムーブメントの衝撃」をテーマに講演。講演後、八城社長の両親は本部

全体の未来発展図を数十年単位で予想しグラウンドデザインを描くことが重要。農業土木の場合、農業を基盤に経済効果を踏まえた地域活性化につながる事業にしなければならぬ。この事業にマーケティング力と、実現可能なリサーチ力、そしてイマジネーションが必要なことが伝わります。

現在、社員四人とパートナー一人という構成ですが、会社設立に際して経営指針作成講座の学びを反映。自社の理念から行動指針、経営指針までしっかり作成されており、学びを実践されているのが印象的です。また、他社の朝礼を見学に行った時の学びを、自社用にかスタマイズしオリジナリティを取り組みとして「人生を変える100の言葉」を、全社員で読み込み朝礼の際に、それぞれが気になった言葉を発表しているのだとか。社員さんの思考や関心事がわかり、とても参考になっているそうです。

(株)ベストコンサルタント
代表取締役 宜保 剛 氏
(那覇支部)

所在地/豊見城市真玉橋148-2
TEL/098-851-2255
事業内容/建設コンサルタント(建設工事に伴う測量および設計、土木)

建設コンサルタントの仕事は、「夢を描く実行性と、実効力」どちらも必要と語っていました。が、将来的には規模を大きくし総合建設コンサルタント会社となり全てをお任せできる会社になりたいと自社の未来予想図も描いていました。(根橋理香)



みんなで応援しています

十月十二日、沖縄市体育館にて広報委員会学習

広報委員会
スポーツ観戦から
経営者の視点学ぶ

試合終了後は場所を移動して、中部支部の方々とキングスの過去の歴史やスポンサー料など経営者の視点から見る話に盛り上がり懇親も深めた時間を過ごしました。参加者から「次回も同様の企画を！」とリクエストがありました。(大浜博文)

那覇支部
地区例会で学び
交流会で親睦深める!

町の出身。いつかは故郷に錦をというお父様の思いをお持ちだったそうです。霊園事業戦略を策定していく中で、人口動態(総人口・少子高齢化・世帯人数・独身比率の変遷)、ライフスタイルの変化、行政方針の転換などに常に注視され、お墓のあり方について考えてこられました。その中で、継承を必要としない、経済的負担の少ない、単身者で

も利用可能な埋葬方法に着目し、合祀・終身供養のサービスを開発され、さらに新たなサービスマルチバリューとして手元供養をご提案されています。経営者は経済や社会の変化に常に注視して、中長期的視線を常に持ち続けて経営戦略を作っていく・変えていく必要性を改めて考えさせられた例会となりました。(洲鎌誠)



赤嶺佐和 氏

南地区例会

十月十一日、沖縄産業支援センターにて那覇支部南地区例会が開催され十八名が参加しました。「働き方改革」に相応

染みの会員同士も、いつもとは一味違った交流となりました。エスパーナに場所を移してのBBQでは、ボウリング大会の表彰式(優勝はストライクを連発した赤嶺宏幹社長でした!)や豪華景品が当たるジャンケン大会で大いに盛り上がりました。初秋の心地よい海風を感じながらビール片手に歓談し、さらに親睦を深めました。(望月弘子)

二〇名が参加しました。まずはサラダボウルにてボウリング大会。各地区代表の始球式でスタートし、地区混合のレーン編成で打球しました。メンバーの一投一投に皆で一喜一憂しながら、ビール片手にハイタッチ!親子参加もあり和気あいあいとした雰囲気の中、新会員さん含め顔馴染みで親睦を深めました。OB COの「KUKURU」を大切にしているのだと、納得しました。(小林ゆり江)

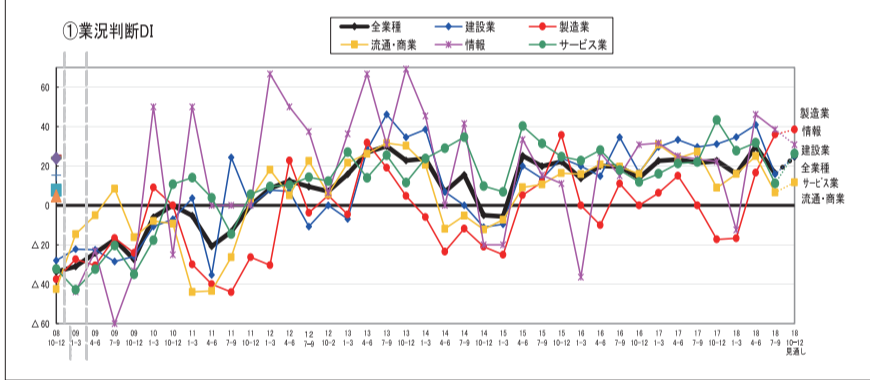
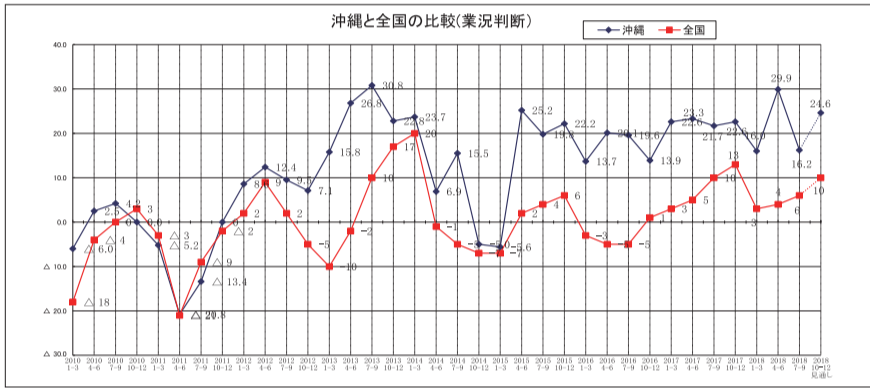
2018年7-9月期 景況調査の結果
今期より包括連携協定を締結している沖縄大学と共同での分析をスタート
前期から後退するも14期連続プラス超。先行きは改善し、引き続き全業種でプラス超の見通し。

10月25日に発表された2018年7～9月期景況調査の結果を要約して掲載します。（詳しくはホームページに掲載されています。）

回答企業の概要

- (1) 回答企業 170社 回答率 41.2% (413社中)
- (2) 業種別 ()は実数
 - 製造業 15.3% (26) 建設業 11.8% (20)
 - 流通・商業 27.6% (64) サービス業 37.6% (64)
 - 情報産業 7.6% (13)
- (3) 規模別 従業員数 <正規>平均 37名
 <臨時・パート・アルバイト>平均18名

- ① 業況判断は後退するも14期連続プラス超。製造業以外の業種で後退するも、引き続き全業種でプラス超。要因として、「人材不足による外注（派遣代）の増加（卸売・小売業）」「自然災害、台風などの悪天候（宿泊業）」「台風や地震など自然災害などの影響もあり、レンタカー利用者が減少（レンタカー）」「官公需要が大幅に減少。公共事業への依存度の高い当社はその影響を受けやすく、売上が伸び悩んでいる（土木設計）」「人材不足により売上が伸びない（社会福祉・介護事業）」「不動産業の好景気→広告がなくても売れる→広告出稿量の減少」（広告代理店）。
- ② 売上高DIは後退するも、前期に続きプラス超。製造業以外の業種で後退・悪化。
- ③ 経常利益DIは後退するも、前期に続きプラス超。製造業が改善し、全業種でプラス超に。
- ④ 資金繰りDIは後退するも、前期に続き全業種でプラス超。
- ⑤ 経営上の問題点は「従業員の不足」、力点は「新規受注（顧客）の確保」が第1位。
- ⑥ 先行きは情報以外の業種で改善し、引き続き全業種でプラス超となる見通し。



各ブースで商品の魅力をPRする

十月十九日（二十一日の三日間、第四十二回沖縄の産業まつりが奥武山公園と県立武道館にて開催され、同友会も「輝く企業見本市」として出展しました。

（株）夢づくり沖縄、（有）大平産業、（有）MICKATA、（株）近代美術、（有）赤田義肢製作所、（有）大宮工機、（有）サプリバンクの合計七社が出展し、それぞれのサービスや商品などの説明を行い、来場者は興味津々に聞き入っていました。

二十日には、武道館内のステージを使い「事業プレゼンショー」を開催



文進印刷株式会社

本社 / 〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4
TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

- 那覇営業所 / 〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357
- 浦添営業所 / 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14
TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357
- 宜野湾営業所 / 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357
- 沖縄営業所 / 〒904-2165 沖縄県沖縄市宮里2丁目1番3号
TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357
- 糸満営業所 / 〒901-0303 沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102
TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357
- うるま営業所 / 〒904-2215 沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5
TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357

平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006(プライバシーマーク認定番号24000306(04))を取得いたしました。

<南部支部会員>



ご利用者にレンタルしました。レ



佐藤氏とレンタル車イス

最後に、定期的な福祉用具の勉強会の開催、第三火曜日の二十時からFMラジオ（FM21）放送「福祉用具最前線&ミュージック」も行っていますので、ぜひ皆さんも聞いてみてはいかがでしょうか。（事務局）

今回は、在宅施設の高年齢者向けに福祉用具サービスを行っている、サトウ(株)の佐藤大介社長にお話を伺いました。損害保険会社に勤務をしていた佐藤社長は、二〇〇二年に出身地の神奈川県から沖縄県に移住し、事業承継して二代目社長と

寄り添い、必要な時に必要な福祉用具の提供を！

なりました。従業員が七十三名、全社員が福祉用具専門相談員の資格を取得、離職率も低く、社内レクや野球チームもあり福利厚生に力を入れている会社です。

沖縄県内、宜野湾本社を含む六カ所の営業拠点があり、本社に併設されているメンテナンス工場を実際に見学させていただきました。レンタルした

事故が起きないように、故障や汚れなどが無いかを入念にチェックしている従業員さんは職人のような手つきでした。十二月より、さらに安心な商品を提供するために、うるま市に「福祉用具商品管理センター」を設置するそうです。

また十年計画のなかで、売り上げ目標や社員成長なども計画で立てていますが、ご利用者に寄り添っ

サトウ(株)
 <浦西支部>

代表取締役 **佐藤 大介 氏**

所在地 / 宜野湾市字真志喜2-13-12
 TEL / 098-898-8700
 事業内容 / 福祉用具貸与・販売
 URL / www.satooka.com



同友会の歴史を伝える

十月十日、南風原町で新会員オリエンテーションが二十一名の参加で行われました。八・九（破竹）月の強化月間で入会した六名の新会員の方が

新会員オリエンテーション 同友会での学び通して 社長と共育ち

参加されました。宮城勇副代表理事より同友会の理念と歴史を講話いただいた後、入会二年目で(株)大匠建設・専務の宮崎賢氏より体験報告がありました。その中で、社長と数年会話することがなかったが、同友会で学ぶことで社長の考

えが理解でき、今では共に育っていることが印象的でした。バツ贈呈後、グループ討論では新会員と共に、同友会をどう活用していくかをテーマに討論して、「各々の課題や悩みの解決」、「人材育成・新規採用」、「自分自身の成長」という発言があり、新会員の皆様にとって同友会を活用して会社の発展に繋げていただきたいと思います。（竹富久）

同友会に入会して三年半。今年初めて受講した経営指針作成講座や役員研修講座など同友会活動に参加することでネットワークが広がりました。すると、知っている方が活躍している「ニライみらい」を読むのが楽しくなりました。

仲間をつくることで自分の興味の幅も広がると実感しています。各支部の活動なども知ることが出来るのでいろいろ参加していきたいと思っています。

これからも楽しみにしています。（とよみ税理士法人・上原登貴子）

